



第3回

森里海を結ぶフォーラム

in 宮崎

10.7 (土) - 10.8 (日)

森と海のつながりを考える2日間

世界は自分たちの利益ばかりを追求し、分断・対立を激化させて日々、胸を傷めるニュースは尽きません。

一度立ち止まって「ふるさと」の意味を思い起こしてみませんか。

“共に生きる”先人の知恵を継承してきた地域の生き方にこそ、私たちが今をこころ豊かに暮らし、確かな未来を続く世代に送り届けるバトンが見つかるかもしれません。

今なお、自然循環的な焼き畑農業に生きる暮らしと文化が継承されている日向市の上流にある椎葉村には“山に暮らして海を想い、海に暮らして山を想う”理念とそれにもとづく行動をしている人たちがいます。

この度、宮崎県椎葉村の奥山と耳川がつなぐ日向の海を結んで、続く世代の確かな未来を考える場を企画しました。アクティビティにもぜひ足を運んでいただけたらうれしいです。

シンポジウム

2023年10月7日(土) 13:00 - 17:10

日向市文化交流センター 小ホール

〒883-0046 宮崎県日向市中町1-3-1

定員：100名（申込み不要・参加無料）

アクティビティ

2023年10月8日(日) 13:00 - 15:00

民宿焼畑

〒883-1603 宮崎県東臼杵郡椎葉村 不土野843

定員：10名（申込み必須・参加無料）

お申し込み・お問い合わせはこちら

シンポジウム 申込不要 当日受付にお立ち寄りください

アクティビティ 要申込（締め切り：9月29日（金））



FAXでお申込の場合は、お名前、参加人数、FAX番号、日中連絡がつく電話番号、Emailを書いて、下記FAX番号にお送りください。後日受付のご連絡をお送りします。または、左記QRコードからお申込ください

FAX: **0153-65-2183** お問い合わせ先：2021.morisatoumi.forum@gmail.com

アクティビティ申し込みは定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
登壇者は、予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

森里海を結ぶシンポジウム

主催：森里海を結ぶフォーラム
共催：一般社団法人全国日本学士会

2023年10月7日(土) 13:00 - 17:10

13:00 - シンポジウムご挨拶

田中 克（森里海を結ぶフォーラム代表、全国日本学士会理事）

13:10 - 山から海へ、海から山への問題提起

(1) 椎葉村の奥山で焼畑農業に生きる

椎葉 勝（焼畑蕎麦苦楽部代表）

(2) 日向の海の恵みに生きる

高橋和範（日向市漁業協同組合、平岩採介藻グループ代表）

14:20- 山と海のあいだを結ぶ、現場の取り組み

(1) 海の森づくりの現場から

岩本 愛（平岩採介藻グループ）

(2) 有明海の再生を願う森里海のクヌギ林づくり

平方宣清（佐賀県大浦漁業協同組合・森里海を結ぶフォーラム委員）

(3) 山間地の伝統的民俗文化継承の意義

井上果子（宮崎大学地域資源創成学部准教授）

(4) 伝統的知恵としての雑穀栽培を見つめる

小倉沙央里（ブリティッシュコロンビア大学作業医学部）

(5) 三陸の後方支援の文化とふるさと創生

藤井洋治（ふるさと創生大学理事）

16:00- 意見交換

司会 阿部健一（総合地球環境学研究所教授）

17:00- 閉会の挨拶

千代反田晋（全国日本学士会理事、社会医療法人泉和会千代田病院理事長）

森里海のアクティビティ

主催：森里海を結ぶフォーラム

2023年10月8日(日) 13:00 - 15:00

13:00 椎葉村「いのちのふるさと焼畑」山歩き

焼畑の名手の椎葉勝さんと焼き畑後の山を訪れ、お話を聞き体験するイベントです

椎葉村にってみよう！

椎葉村は大昔から今も続く循環型農法「焼畑」を継承している日本でも数少ない村です。五千年前から続けられてきたともいわれ、そこで村の人たちは生き物たちを尊重しながら生きています。今回のプログラムだけではなく定期的に「海と山をつなぐ交流会」も開催しているのでぜひご参加ください！

主催：任意団体 森里海を結ぶフォーラム

お問い合わせ先：2021.morisatoumi.forum@gmail.com